



# ほんべつ 議会だより

No.70

平成26年8月1日発行



## 元気にかっこ，ガンバシ!

6月14日 南保育所運動会（銀河アリーナ）

# 第2回定例会

## 認知症地域支援推進事業、本別高等学校給食提供に係る予算を補正

平成26年第2回定例会は6月2日に開会し、一般質問のほか一般会計他5会計の補正予算などを審議し、全て原案どおり可決しました。審議された主な内容は次のとおりです。

### 条例改正

議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

議会活性化の協議を経て、議員の職責及び議会への住民の信頼の確保に向け、議員が長期間活動ができない場合に、関係条例の整備が必要になったため改正しました。

○議員活動ができない期間の減額割合

- ・180日以上365日未満  
満く当該月額報酬から100分の25を減じる。
- ・365日以上  
当該月額報酬から100分の50を減じる。

・条例改正に伴い、議会会議規則において、7日以上議員活動ができなくなった場合、議長に届け出ることを定めました。

### 一般会計補正

#### 勇足放課後子ども教室

**問** 勇足の放課後子ども教室の場所について、地域から様々な要望があると聞く。今後の対応については。



子ども教室の様子

**答** ことしは子どもの数が昨年より5人ふえて10人になりましたので、緊急措置的な対応として公民館で行っています。6月に開く保護者会では、場所について、いろいろな意見を聞いて、相談していきます。

#### 認知症のさらなる地域支援（認知症地域支援推進等設置事業）

**問** 認知症にかかる支援事業の予算増額はどのような内容か。

**答** 認知症対策についてはこれまで取り組んできましたが、認知症の方を地域で支える仕組みづくりのさらなる充実を図るため、今事業を取り組むものです。

認知症地域支援推進員が、認知症家族からの相談に対する対応や啓発、医療機関や介護サービスなどの地域の支援機関をつなぐ役割を担い、嘱託医は、推進員やケアマネージャーへの助言、専門医療機関へつなぐための調整等を行います。

#### 本別高校への学校給食提供

**問** 高校への学校給食提供の中で、牛乳は提供しないとのことだが、理由は。

**答** 生徒が牛乳を飲まないことや、高校側から、管理面上で提供は差し控えてほしい申し出があったため、提供し

ないことを総合的に判断しました。また、義務教育は牛乳の購入に対して、道から補助があり42円で購入できますが、高校は補助がないため、50円以上の購入単価になります。



新しい給食センター

平成26年8月4日に  
任期満了となる  
固定資産評価審査委員会委員に

**土 蔵 啓 一 氏**

(北5丁目)

の再任に同意しました。

平成26年度 各会計補正予算

会計	(補正額) 補正後の額	主な内容
一般会計	(1,438万1千円)	木工新製品調査事業 食観光推進事業(緊急雇用創出推進事業) (臨時会)
	(6,059万8千円) 64億5,054万3千円	庁舎屋上防水補修工事 認知症地域支援推進等設置事業 勇足放課後子ども教室教育活動推進員1人増 勇足西浄水場排水流量計更新工事(故障のため) 消費者被害防止啓発資材購入(道消費者行政活性化事業) 本別高等学校へ学校給食提供に係る経費 (定例会)
特別会計	(26万円) 1億2,469万8千円	後期高齢者医療保険料環付金(死亡等増)
	(32万2千円) 8億6,839万3千円	認知症地域支援推進等設置事業
一般会計	(8万1千円)	特別養護老人ホーム 洗濯機 更新 (臨時会)
	(59万9千円) 2億7,178万7千円	高圧受電設備修繕、高圧機器変圧器更新 (定例会)
公共下水道	(1,080万4千円) 5億3,844万1千円	栄町2号通り道路工事に伴う下水道新設工事 浄化槽新設工事増
病院事業会計	(84万8千円) 15億6,226万8千円	眼科外来枠拡大による医師派遣謝礼増 精神科外来枠減による医師派遣委託料減

※第2回臨時会含む

平成26年7月19日に  
任期満了となる  
議会推薦の  
農業委員会委員に  
**山西 二三夫議員**  
の再任に同意しました。

第2回臨時会

第2回臨時会

開催日 4月25日

条例改正

**国民健康保険税条例の一部改正**  
地方税法の改正により、課税限度額の見直しと低所得者に係る軽減措置の拡充が行われたため条例改正を行うものです。

- 保険料の賦課限度額引き上げ  
・後期高齢者支援金等課税限度額  
14万円↓16万円
- ・介護納付金課税限度額  
12万円↓14万円
- 均等割額、世帯平等割額の5割軽減、2割軽減の軽減判定基準所得引き上げ

国保税課税の軽減

**問** 低所得者に係る軽減措置の拡充による、対象者と影響額は。

**答** 5割軽減で世帯平等割が97世帯、均等割が138人で約390万円、2割軽減では、世帯平等割が78世帯、均等割が141人で149万円の

軽減額となります。



国保の窓口

一般会計補正

食観光推進事業

**問** 食観光推進事業費59万3千円の補正について、具体的な事業の内容は。

**答** 国の緊急雇用創出推進事業の地域人づくり事業を活用し、地域の若者や女性、高齢者等の潜在力を引き出し、雇用の拡大につなげていく取り組みです。

新規雇用を2人予定し、事業は観光協会に委託します。内容については地域の食材と飲食店、ホテルとのマッチング、都市部での食品展示会や商談会、イベント等への参加、食観光の取り組みとそれを担う人材育成の講習会を開催していきます。

**9月定例会は9日から予定しています**

私たちの住みまちの議会です  
どなたも自由に傍聴できます  
あなたも傍聴してみませんか

**環境整備に汗**

5月17日、本別川沿い(本別公園から上流)道路のゴミ拾いを行いました。

2時間程の作業で、45リットル袋50個分のゴミが集まりました。

議員ボランティアでゴミ拾い

# 一般質問

4名の議員から6問



## 行政

**より住民に利便性のある役場にエレベーター設置は困難、補助メニューを待ちたい**



阿保静夫議員

**阿保議員** ①「役場庁舎にエレベーター設置を」の議論は、これまでも何度かあり、高齢化の中で避けて通れない課題だと考えます。

技術の進歩で、費用が以前より軽減されているのではと考えますが見解を伺います。

② 総合案内窓口が廃止されて久しいですが、町民の目線で考えると、やはり総合案内窓口は、あったほうがよいと思います。「ワンストップ窓口」を設けている町もありますが、より身近な役場にするために検討する考えはないか伺います。



役場玄関ホール

**高橋町長** ①設計上、エレベーターホールはあるが、機器の配線等で現状では設置は困難です。本体に約5,000万円、周辺整備にその倍はかかるので、国の補助メニューを常に調査し、チャンスを待っています。

② 来訪者に必ず職員は声をかけ、ワンストップ窓口のような対応ができていると考えます。

**「町が消滅」の報道、人口減に歯止めを**

**答** 子育て支援、産業の維持、再生で人口減に歯止めを掛けたい

**阿保議員** 「道内町村8割で、若年女性性が半減」「管内13町が消滅可能性」の報道がありました。

① 人口対策の基本は仕事、職場の創出と現状職場（農業含め）の維持だと考えます。

また、住居の確保、子育て支援などで、「住みやすいまちづくり」だと考えますが。

② 減少率が少ない先進地の取組みを分析、模倣することもある必要だと考えます。課を横断する「対策チーム」を作り定期的な議論と対策の検討する考えはないか伺います。

**高橋町長** ①平成の合併や道州制の議論があり、交付税は減らすという流れを感じる中、少子化の歯止めの一つとして子ども未来課を設置して応援する環境を作りました。今後、廃棄物の再資源化、



もっと子育てのしやすいまちを

エネルギー化を図り、葉草やトマト他、新たな作物栽培、農業の維持、林業の再生などで人口減に歯止めをかけた。② 課題ごとで課を横断する体制はあります。今後は庁内だけでなく商業や農業、林業含めた体制について検討し、前向きに対応したい。

### ワンストップ窓口とは

役所内の窓口を一本化する総合窓口。住民が複数の窓口へ向くことなく、各種証明書の発行や届出等の手続きを、1カ所の窓口で行うことができます。



ものしり博士から

# 暮らし

## 空き家対策について

**答** まず、モデル事業を活用し、実態調査を行います



小笠原良美議員

②本町でも条例を制定し、空き家対策に取り組み、まずは、廃屋と思われる空き家の近隣地域で生活している方の不安解消を図るべきと思いますが。

**小笠原議員** 最近、町内でも空き家が目立つ状況にあり、地域全体にとって防災、防犯、環境上から問題になってきていますが、以下について伺います。

**高橋町長** ①もし、この法案が制定されれば、市町村の空き家対策はやりやすくなると思います。

固定資産税の情報をもとに所有者を特定したり、敷地内への立ち入り調査や、倒壊の恐れのある住宅の所有者に撤去や修繕命令ができる権限を与えられるのではないかと思います。

②今年、厚生労働省のモデル事業を活用して空き家の実態調査を行い、今後、適切な処置ができるよう進めていきます。

## 本町の自主防災組織の拡充について

**答** 高齢者、障がい者の実態調査を行い関係機関での情報共有化を



黒山久男議員

**黒山議員** ①各自治会における自主防災計画の内容等について、行政としてどのようにかかわっているのか伺います。

②自主防災組織の取り組みと在宅福祉ネットワーク組織の災害時における要援護者対策が並行する部分があります。

町、社協、自治会連合会、在宅ネットワーク、消防、民生委員等も含めた中での横断的な話し合いを持ちながら主体的な取り組みの組織化を図るべきと思いますが、どのように考えているのか伺います。

**高橋町長** ①自主防災組織の設置要綱を作成する自治会には、安否の確認や、避難の支援、情報収集、伝達方法等体制の確



急がれる空き家対策

①空き家対策に関する特別措置法案が、国会に提出されるようですが法案が制定された場合、地方の空き家対策に及ぼす影響についてどのように受け止めますか。



町防災訓練

立をお願いし自治会総会で決定していただいています。要綱をコピーさせていただき、担当の方で保管しています。

②自主防災組織が結成されていけば、在宅福祉ネットワークの部分については、自主防災組織と活動を兼ねて取り組んでいただき、各自治会の実情に応じて活動しやすく、かつ実効性の高い方法で取り組みを行っていただければと考えています。



# 林業

町民への森林・林業・林産業の理解を大切に

**答** 今後も引続き実施していく計画です



高橋利勝議員

**高橋議員** 森林・林業・林産業の振興ためには、町民や子供たちに森林や林業の大切さを知ってもらうことが必要だと思えます。そこで以下2点について伺います。

①今年度は町民植樹祭は行われていませんが、今後の植樹祭のあり方は。

②植樹祭については、関係団体との連携を取りながらも町が主体的に取り組むべきです。

**高橋町長** ①植樹祭については昭和59年から色々な形で継続して取り組んできました。



町民植樹祭

今年度は植樹の用地の確保ができないということに断念しましたが、今後も引続き実施していく計画を持っています。実施にあたっては、無理にならないように、また、怪我などのないような条件の用地を探し植樹祭を続けていくことを話し合っています。

②植樹祭などの実施にあたっては、公用地だけではなく民有地も含めて、条件を整えば植樹祭という形でしっかりと造林をしていく方式もとっていきたいと思います。



# 地域振興

仙美里地区・勇足地区のまちづくりに対する考えは

**答** 関係団体とまちづくり、地域づくりについて協議していきます

**高橋議員**

中心市街地から離れた地区において高齢化が進むと、同時に生活環境の後退が進み、高齢者や障がいを持つ方々はもちろんのこと、一般住民の方々も不便を感じるようになりそうです。そのことによつてさらに人口減少や高齢化が進むことになりかねません。そこで2点について伺います。

①本別市街地から離れている地区として、仙美里地区、勇足地区があります。実情を見ると、両地区とも生活環境は着実に後退しているのではないかと思います。両地区のまちづくりについてどのような考えを持っているのか。

②両地区において、行政、農協、商工会、郵便局、自治会などが連携したまちづくりについて話し合える場を設けては。

**高橋町長**

①②仙美里地区、勇足地区では農協支所・店舗、郵便局に頑張っていたのですが、民間の店舗の後退は否めず、今のうちに協議しなければ、地域で何かを進める条件が狭まってしまいます。地元で最低限の買物ができるようなまちづくり、地域づくりについて商工会も含めて協議していきます。



仙美里市街

# 決議・意見書

第2回定例会では1件の決議と6件の意見書が提出され原案可決されました。要旨は、次のとおりです。

## 【要旨掲載】

「TPP協定交渉から十勝を守り抜く」決議

TPP交渉は、早期妥結を目指した厳しい交渉を重ねていくことが想定される。今後地域の産業・経済や住民の生活に影響が生じると見込まれる場合には、TPP協定交渉から撤退することを求めるための、強力な運動を展開する。

提出者 高橋利勝

決議

道教委「新たな高校教育に関する指針」の見直しと地域や子どもの実態に応じた高校づくりの実現を求める意見書

提出者 黒山久男

可決

義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善、就学保障充実など2015年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書

提出者 高橋利勝

可決

平成26年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

提出者 黒山久男

可決

地方財政の充実・強化を求める意見書

提出者 高橋利勝

可決

労働者派遣制度改正をやめ、ブラック企業根絶を求める意見書

提出者 阿保静夫

可決

現場無視の「農業改革」に反対する意見書

提出者 阿保静夫

可決

# 行政報告

第2回定例会において、町長から行政報告がありました。（抜粋）

私立幼稚園へ通園する第3子以降の園費の負担軽減について

町は園費の負担軽減措置としては、「本別町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱」に基づき、幼稚園に対し園費の減免分を交付し、同額を幼稚園から保護者へ給付しています。

本年度から、保育所の保育料を、満18歳に達する年度末までの子を3人以上扶養している場合、同時入所に関わらず3人目以降を全額無料にしたことから、幼稚園についても保育所と同様になるよう、交付要綱の見直しを行い、子育て世代における「負担の平準化」を図ることとしました。

補助額については、保護者の所得等により変更が予想されることから、確定後に補正対応します。

# 委員公云しレポート

## 総務

### 常任委員会

調査日／平成26年4月25日

#### ○財政の現状と今後の見通しについて

##### ◇一般会計の決算状況

平成25年度の決算見込額は歳入が79億675万6千円、前年度比8億5,227万9千円増で、歳出は78億2,154万6千円、前年度比8億7,889万円増の見込みです。地方交付税は33億6,801万9千円で、前年度より0.5%減、基金残高は36億3,769万6千円で、前年度比1億8,540万6千円増となる見込です。

##### ◇義務的経費（人件費、扶助費、公債費）の推移

平成25年度決算見込み額は25億6,249万7千円で、前年度より0.5%増となる見込みで、そのうち、公債費は7億4,636万4千円で、前年度より3.6%減の見込です。

##### ◇地方交付税等の推移

ピーク時の平成12年と比較して9億9,672万円、22%減。

##### ◇基金の推移

基金残高、平成16年度19億2,550万円、平成25年度決算見込み額36億3,769万6千円。

##### ◇地方債借入額状況

平成17年以降は、総額で5億から6億円の借り入れとなっており、臨時対策債を除く借入額は2億から3億円程度に抑えてきました。

##### まとめ

本町の財政状況は、一般会計で平成11年度約105億円をピークに27億円が減額となり、近年は70億円ぐらいいで推移しています。予算全体の48%を地方交付税に頼っている現状で、厳しい人口減少が続いている中では、国勢調査結果による交付税の影響が心配されます。国の動向や町財政を常に把握しつつ、町財政の運

営の安定を図っていくことが課題と考えます。



本別市街

## 産業厚生

### 常任委員会

調査日／平成26年4月25日

#### ○上水道の設備等の現状と今後の計画について

##### 1. 本別町の上水道の歴史

本別町の上水道は、昭和27年に工事を着手し、昭和29年11月から給水を開始。その後、水源変更を含めた変更・拡張を行い、昭和53年度に本別浄水場が建設され、現在に至っています。

##### 2. 給水人口、給水状況等

給水人口は、平成24年で5,524人、普及率98.7

3%です。また、給水状況は約49万8千 $m^3$ のうち、家事用が約36万2千 $m^3$ 、業務用が約12万2千 $m^3$ 、その他（家事・営農兼用、工業用等）となっています。



上水道についての所管事務調査

##### 3. 水処理方式等

当初、緩速ろ過方式で行っていましたが、昭和53年の本別浄水場の建設に伴い急速ろ過方式となり、現在に至っています。

##### 4. 今後の計画

平成26年度からの3力年で、上水道施設管理台帳の整備を計画しており、それにより、老朽管の延長等が明らかになった段階で、配水管の更新計画を新たに作成し、配水管の更新を進めていきます。

##### 5. 勇足・美里別簡易水道との連絡管について

平成24年6月から平成24年10月に美里別から栄町、勇足から共栄、西美里別から弥生町については非常時に給水が可能となる連絡管を整備しています。

##### まとめ

本町の水道施設は、国の基準では耐震診断を義務づけられていない施設ということでしたが、町民のライフラインの確保の一つとして重要であることから、近年相次いで起こる災害から、建屋、設備等を守ることを求められています。



本別の水は

# 広報広聴

## 常任委員会

調査日／平成26年4月25日  
○町広報の編集方法と考  
え方

### 1 町広報の編集方法

① 広報「ほんべつ（本誌）」  
本誌は月1回、自治会に  
3,541部、その他を含め、  
3,850部を発行してい  
ます。表現はわかりやすく  
理解しやすい内容を目指し  
ています。

年2〜4回の「特集記事」  
は2カ月以上かけて作って  
います。特集記事を掲載し  
た号は、北海道広報コンク  
ールで6回入賞しています。

### ② 暮らしの情報紙「かけはし」

かけはしは月2回、3,  
760部発  
行していま  
す。お知ら  
せ記事を編  
集、「わか  
りやすく」  
に努めてい  
ます。



町広報

### 2 編集の手法

① できるだけタイムリーに、  
ぎりぎりまで取材。インタ  
ビューの時は事前に情報  
収集します。

② 伝えるべき瞬間を切り抜い  
た写真を掲載します。

③ 誰が読んでも誤解のない  
文章で表現します。

④ 読む人の視線の動きを意  
識した構成を心掛けます。

⑤ 何度も誤字・脱字を確認。

### 3 町広報の考え方は

近年、新聞、雑誌離れが  
懸念される中、町広報は本  
別町の歴史を記録する最も  
身近な資料です。町民の皆  
さんに親しまれる紙面構成  
を心掛けています。

### まとめ

町広報はわが町の情報発  
信を担う重要な手段です。  
広報誌がどの程度読まれ  
ているか、記事に対する町  
民の皆さんの意見の把握の  
ために、取材時のインタビ  
ューあるいはアンケートな  
どで率直に町民の皆さんに  
聞いてみることも一案だと  
思います。

## 新企画 第1弾！

### 商工会青年部

#### との懇談会

開催日／平成26年4月24日

「町内各団体との懇談会」  
第1弾は商工会青年部の皆  
さん（10人）との懇談を行  
いました。議会、人口減、  
愛町購買などで出された意  
見等を抜粋して紹介します。

#### 議員と議会について

**Aさん** 議会だよりなど見  
ていますが、議会について  
細かい所はわかりません。  
このような（懇談の）機会  
はありがたいです。

**Bさん** もっと若者にアピ  
ールを。また、日中の議会は  
行きたくても行けないのが  
残念です。

#### 人口減対策と商業の繁栄は

**Aさん** 人口減に対して起  
業家支援などで成果もある  
が、「出ていかせない」「人  
を入れよう」という方策は  
ないでしょうか。

**Dさん** 結局自社努力が基  
本で、気持ちが悪かったら  
ダメ。また、国道沿いが駐  
禁で買物しづらいのが現状。  
除雪などは自分たちでお

金を出し合ってやっていま  
すが、町の方でも支援して  
ほしい。

**Fさん** 可能なら宣伝広告  
への助成金などもあればい  
いなと思います。こういう  
商品がある、ということを知  
ってもらいたいと思います。

**Gさん** 時代に合った経営  
方法をプロの方を呼んでア  
ドバイスをもらうなど、町  
としても考えてほしい。う  
まくいけば、その店が繁  
栄するかも知れませんが、

**人々が帰ってくる本別を**

**Hさん** 自分は本別に戻っ  
てきましたが、基本的に本  
別が好きなのだなと思って  
います。出てこそよさがわ  
かるのでは。だから「出て  
行きやすい環境」も必要で  
はないでしょうか。

**Eさん** 僕も1年半前に引  
越してきて、起業家支援  
で店を開きました。このよ  
うな助成があるのは素晴ら  
しいことだと思います。  
一方、東京や札幌の大学  
に行っている子が一時帰郷  
するのに支援ができないか  
なと思います。

### 住むところは

**Iさん** 私はサラリーマン  
で本別に来ましたが、住宅  
に困りました。家を探した  
のですが帯広と同じくらい  
の値段では家賃は払えませ  
ん。

**Cさん** 空き住宅、実は結  
構あると思います。家具な  
ども置いたまま本別を離れ  
る例も聞きます。役場で空  
き住宅情報として持って  
いただくありがたいです。

### 後記

広報広聴常任委員会にな  
って初めての企画で、たい  
へん有意義な懇談ができた  
した。紙面の都合で皆さん  
の発言を十分に掲載できな  
かったのは少し残念です。  
自分の仕事やまちづくり  
への熱い思いを感じました。



商工会青年部との懇談会



人口減少で  
これからのまちづくりは  
むずかしいですね

南3丁目 前田 繁さん

今回、義経教室（会員43名）の、皆さん16名が議会の傍聴にみえられました。その中で南3丁目にお住まいの前田繁さんにお話を伺いました。前田さんは10年前に農業を辞めて今は、奥さんと二人で健康維持のため野菜づくりをしています。前田さんのお父さん（前田英雄さん）は元町議会議員で議長も二期務めています。したがって、議会には関心がありますが、今回で三回位の議会傍聴です。お父さんが議長時

代は、ほとんど家にいることがなく、議員活動は大変な仕事だと感じていたそうです。今回、議会傍聴をしてみても感想を尋ねますと、各議員ともよく町民の声を聞いていて熱心に活動していると感じたそうです。また、日頃のまちづくりについて尋ねると、「最近では空き家が多く、人口減少が進んでいるので、これからのまちづくりはむずかしい」と話して下さいました。政治状況については、「TPP問

題に関心があり、今後の進み具合が心配」、「なんとか農家の収入増につながるような結果を望んでいます」とのこと。前田さんは、よく民謡大会や駒おどりなどで尺八の伴奏をされている姿を見ることがあります。最近では尺八の他、詩吟により剣舞を舞うそうので、各施設への慰問活動を行っているとのこと。6月16日の取材日が76歳の誕生日で、あまりにもお若く見え、驚いています。

## 議会日誌

### 〔5月〕



- 7日 十勝活性化推進期成会文教福祉委員会（帯広市）
- 15日 議会運営委員会、ボランティア活動（ゴミ拾い）
- 16日 産業厚生常任委員会先進地視察（鹿追町、士幌町）
- 20日 十勝活性化推進期成会定期総会（帯広市）
- 29日 議会運営委員会

### 〔6月〕



- 2日 第2回定例会開会、議員協議会、産業厚生常任委員会視察勉強会、十勝林活議連総会、十勝林活連絡会議総会
- 5日 北海道町村議会議長会定期総会（札幌市）
- 6日 議会運営委員会
- 10日 本会議（一般質問）、議員会役員会
- 11日 本会議（議案審議）、議員協議会、広報広聴常任委員会
- 17日～20日 産業厚生常任委員会先進地行政視察（新潟県村上市、宮城県白石市）
- 23日 札幌本別会（札幌市）
- 24日 池北三町行政事務組合議会臨時会（足寄町）
- 26日 広報広聴常任委員会
- 28日 清流会総会（東京）

### 〔7月〕



- 2日 第3回臨時会
- 4日 道議長会議員研修会（札幌市）
- 11日 広報広聴常任委員会
- 22日 広報広聴常任委員会
- 28日 議員懇談会
- 29日 北海道横断自動車道北見地区早期建設促進期成会夏季要望（札幌）
- 30日 北海道横断自動車道北見地区早期建設促進期成会夏季要望（東京）

## 4議員が北海道町村議会議長会自治功労者表彰受賞

本議会から、議員として高橋議員が25年、方川議長、方川英一議員、山田議員が15年の長きにわたり地方自治の振興発展に貢献された功績が認められ受賞、6月10日の議会で表彰状の伝達式が行われました。

